

# 受章おめでとうございます

秋の叙勲の3人の受章者とその他の各表彰者を紹介します。

## 瑞宝双光章（教育功労）

豊福 信昭のぶあきさん

（今福・西新町、80）



昭和27年4月から平成3年3月まで40年の永きに亘り教職員として勤務。昭和52年からは教頭、校長を務められました。また校長在任中は、市小中学校長会長、県小中学校長会理事、市教育会長を歴任し、永年に亘って教育一筋に精進されました。

特に、昭和36年、志佐中学校では文部省から道徳の研究指定を受け、研究実践した成果を全国道徳教育研究大会で発表。昭和63年には、地域における小・中・高校の連携を図る生徒指導の研究指定を受け、研究推進協議会を設置し、2年にわたって研究実践を行い、その成果を発表するなど、心豊かでたくましい児童生徒の育成を目指し、常に自己研鑽に務め、教育振興に大きく貢献されました。

## 瑞宝双光章（教育功労）

黒川 壽信ひさのぶさん

（今福・仏坂、77）



昭和33年4月から平成3年3月まで33年間教育一筋に携わり、強い信念と的確な判断力を持つて学校教育に取り組みされました。退職後は、市教育長として12年9カ月の永きに亘り、学校教育のほか社会教育を含む市全体の教育向上に努められました。

特に、校長として勤務した福島中学校では、学校保健活動に力を入れ、学校保健優良校として県教委表彰を受賞。教育長在任中は、校舎改築1校、大規模改造5校、体育館建設1校、プール建設4校、運動場整備6校、児童生徒用パソコンを全校に整備、文化会館や生涯学習センターの建設など、数多くの教育施設の整備や心の教育の推進など、市教育界に多大な貢献をされました。

## 瑞宝単光章（消防功労）

田島 忠志ただしさん

（鷹島・殿ノ浦、73）



昭和29年9月、鷹島村消防団に入団以来、平成19年8月までの間、消防の任務遂行にまい進されました。

この間、一貫して現場第一線の理念に基づき活動し、火災、風水害の際には一身も顧みず現場出動の先頭に立ち、犠牲的奉仕の精神をもって消防活動にあたられました。

特に、平成15年に鷹島町消防団団長に就任後は、これまで培った豊富な経験と知識を存分に生かし、災害現場での指揮、団員の育成指導、消防団の運営などに尽力されました。また、平成18年1月の新市誕生後は、松浦市消防団総括副団長に就任。広範囲となった市全体に目を配り、地域住民の安全確保を第一に考え行動されました。

## スポーツ功労表彰

「松浦市スポーツ賞」「松浦市体育協会体育功労賞」の表彰式が11月9日、市役所市民ホールで開催され、次の方々を受賞されました（敬称略）。

### 【松浦市スポーツ賞】

空手道競技 山内優奈（志佐・佳吉通）  
陸上競技 中村桂都（志佐・田原）  
【松浦市体育協会体育功労賞・個人の部】  
松浦市卓球協会

森加津子（志佐・下高野）  
松浦市陸上競技協会

石井英治（志佐・池成）  
松浦市ソフトボール協会

平野睦義（志佐・佳吉通）



## ゴミゼロながさき県民運動 統一作品入賞者表彰

小川 琢次たくじさん

（今福・人柱、56）

【標語・キャッチフレーズ最優秀賞】  
「響かせよう 長崎の鐘 エコの鐘」



ハナ・レベッカ・コンクリン  
Hana Rebecca Conklin

アメリカ合衆国出身

松浦高校のALT、レイチェル・チョン先生と私は、英会話教室で毎週楽しい火曜日の夜を過ごしています。この教室をレイチェルと一緒に受け持って2年目になります。教室の皆さんは、英会話の習得と異文化交流においては松浦で最も楽しい人たちといえるでしょう。

私自身の教師としての技能についてはあまり言えないのですが、これらの陽気で個性に富んだ人々と時間と経験を共有することは、私の日本での生活で最も楽しいことです。いつも新しい考えに挑戦しようとしてくれる姿勢は、常に私を驚かせてくれます。レイチェルと私がどのように提案しようと、ハロウィーンのコスチュームコンテスト、英語劇、フレーズの練習でも熱心

に、向上心とユーモアのセンスを見せてくれます。皆それぞれ異なった経歴を持っていますが、全てのことに興味を持ち、文化のごちゃ混ぜを創造しています(例えば、いりこやチョコレート、レモンをのせてパンケーキを作ったこともあります)。

英会話教室でこんなにたくさんの個性あふれる人々に出会えたことを幸運に思います。生徒の皆さんには本当に感謝しています。私にとっては本当に特別な一部分です。



## 図書館の おすすめ本

市立図書館  
☎ 0956-72-4677

松浦市ホームページで  
「松浦市立図書館」を検索



### 『世界を救う7人の日本人』

池上 彰/著 日経BP社

この本に書かれた「読むと元気がわいてくる本です。」という言葉どおりの1冊。国際協力と聞くと、胸の痛くなるような光景が浮かび「大切なことだけど、私には何もできない」と考えてしまいます。それで終わらず、私たちも国際協力の輪の一員ということを感じさせてくれます。



### 『いのちのかぞえかた』

小山 薫堂、セルジュ・ブロック/著  
千倉書房

夢をみる。まばたきをする。嘘をつく。電話をする。笑う。そんな日常、一生で何回するのでしょうか。ありふれた風景が違ったものに見える。いのちをめぐる数のおはなし。

### ◆◆◆あかちゃんのお気に入り◆◆◆

このコーナーでは図書館に来てくれたあかちゃんのお気に入りの1冊を紹介します。



御厨町寺ノ尾中の  
氏山智美さんと  
友樹忠君(6歳)  
忠信君(4歳)  
京美ちゃん(1歳)



### 【お気に入りの本】

『しろくまちゃんのほっとけーき』  
わかやま けん/こぐま社

### 【お母さんからひとこと】

「3人が共通して大好きな絵本は『しろくまちゃんのほっとけーき』です。絵本の中のホットケーキがおいしそうでニコニコ見えています。私自身も小さいころ読んだお気に入りの絵本です。うちの子どもたちは絵本が大好きなので、毎日絵本の読み語りをしています。(私が忙しいときは小1のお兄ちゃんが弟妹に読んでくれます)以前は私が好きな本を購入して読んでいましたが、図書館を利用するようになって自分たちで選ぶ楽しさを味わっているようです。絵本は笑顔と感動と優しさを与えてくれるものだと思っています。そんな絵本がたくさんある図書館が大好きなので今後またあ〜くさん利用させていただきます」

※図書館ではお母さんとあかちゃんの来館も大歓迎です!